

自己評価及び外部評価結果報告書

訪問調査日	令和6年10月23日
調査実施の時間	開始10時30分 ~ 終了14時20分

訪問先事業所名 (都道府県)	グループホームなごみの郷 (愛知県)
-------------------	-----------------------

外部評価機関名	外部評価機関 株式会社 中部評価センター
事業所対応者	職名 管理者 氏名 越山 淳子 ヒアリングを行った職員数 (1)人

外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 事業所と地域とのつきあい
3. 運営推進会議を活かした取組み
4. 市町村との連携
5. 身体拘束をしないケアの実践
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
7. 運営に関する職員意見の反映

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 馴染みの人や場との関係継続の支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 思いやりや意向の把握
2. チームでつくる介護計画とモニタリング
3. かかりつけ医の受診診断
4. 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援
5. 災害対策

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保
2. 食事を楽しむことのできる支援
3. 排泄の自立支援
4. 入浴を楽しむことのできる支援
5. 日常的な外出支援
6. 居心地のよい共用空間づくり
7. 居心地よく過ごせる居室の配慮

※記入方法

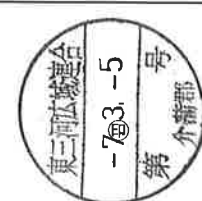
- 「外部評価」の「実施状況」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「外部評価」の「次のステップに向けて期待したい内容」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる事項を記載してください。

※外部評価軽減要件について

- 「評価」欄には、別に定めた要件どおり実施している場合には、○印を付してください。
- 軽減要件適用事業所が聞き取り調査を受け、要件どおりの実施が確認できた場合には、◎印を付してください。

市町村受理確認欄

年 月 日



1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2393300088	
法人名	社会福祉法人 なごみの郷	
事業所名	グループホーム なごみの郷 あやめ	
所在地	愛知県蒲郡市柏原町加治替戸3番地1	
自己評価作成日	令和6年10月4日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?acLion_kouhyou_detail_022_kani=true&JisyoCode=2393300088-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 中部評価センター
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F
訪問調査日	令和6年10月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナが落ち着き、ご家族との面会が自由になってきた為、居室にてご家族とゆっくりお話をしていたり、外出や食事に出かける機会が増えてきています。日常的なケアとしては残存機能活用として洗濯物たたみや花の水やり、テーブル拭き等の軽作業を依頼し役割を持つ事で生きがいを感じていただける様に支援しています。ADLの低下や認知症状の進行予防として毎日の体操やレクリエーション、脳トレ等を行っています。今年度のGHの目標として「自分がされたい介護」をテーマに職員ひとりひとりが「自分がされたくない事はしない」を念頭に介護技術及び職員の質の向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

恵まれた自然環境にあるグループホームで、法人は設立70周年を迎える地域の福祉拠点である。今後のホーム運営にあたり、コロナ明けの現在、今年度から改めて利用者と家族等と向き合っている。利用者視点に立ち、家庭的な雰囲気の中で、利用者が心地よく、自宅にいるような暮らしを送れるような取り組みを推進している。更に、利用者が自立し、自身の役割を担いながらの生活実現を目標に、ADLの低下や認知症進行の予防に対し、職員一人ひとりが前向きに取り組んでいる。ホームは地域との交流機会を確保するとともに、地元企業との提携によるプロジェクトを実施しており、今後の継続的取り組みを予定している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393300088
事業所名	グループホーム なごみの郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地元企業と提携し、地域の子供たちを対象に、パン教室を開催し、利用者と一緒に楽しむ時間を作っている。学生の職場体験や、ボランティアの受け入れを行っている。ボランティアに来た学生の祖母が入所した事例もある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議には、市の長寿課、地域包括支援センター、知見者、利用者家族、民生委員等が参加している。議事録等の報告書は市役所に毎回提出している。民生委員との協働で、独居で困っている高齢者を、介護サービスに繋げた事例もある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	広域連合になり、市とのつながりに変化がある中、市から相談を受け、共同事業で介護ロボット導入の取組みを行っている。市民病院とはオンライン診療が可能になっており、職員が利用者の状態を把握しやすくなっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者家族が一番連絡を取りやすい方法を選択し、電話、メール等で連絡を取り合っている。聞き取った意見や要望には、職員間で共有し、迅速に対応している。利用者ごとに便りを郵送したり、SNSを活用して日々の様子を発信する等の情報提供を行い、意見を出しやすい環境を作っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎	○						